

平成29年6月5日(月), ホテル椿山荘東京において, 地方自治体(群馬県, 三重県伊勢志摩地域, 神奈川県横浜市, 新潟県燕三条地域)との共催により, 平成29年度第1回「地域の魅力発信セミナー」を開催しました。駐日外交団, 駐日商工会議所, 企業関係者等より150名を超える来場者を得て, 各地方自治体がそれぞれの魅力をPRしました。

セミナーは二部構成で, 第1部では各自治体によるプレゼンテーション(各15分程度)のほか, 2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合から, 2020年に向けた地域活性化の取組について説明がありました。第2部では各自治体がブースを出展し, 試飲・試食や体験コーナーを通じてそれぞれの特産品及び魅力を伝えました。

<群馬県>

会場入口では, 群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」が着物姿で来場者を出迎えました。プレゼンテーションでは, 平成26年に世界文化遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」と, 成長し続ける群馬の繊維関連産業について紹介。また, 今年9月に予定している駐日外交団を対象とした群馬県への日帰りツアーもPRしました。

第2部では, 飴細工の実演が大変好評で, 群馬県ブースを盛り上げた他, ぐんまちゃんと一緒に写真を撮りたいという人も絶えず, ブースは常に混み合っていました。他にも, おつきりこみや上州和牛のローストビーフ, 地酒等の試飲試食も人気で, 多くの人が群馬県の美味しい特産品を味わっていました。さらに, 繊維製品は展示だけでなく, スタッフが実際に着物をまとして群馬県産繊維の美しさを伝えました。



来場者をお出迎える「ぐんまちゃん」



飴細工師の花輪茶之介さん

<伊勢志摩地域(三重県)>

昨年G7サミットが伊勢志摩で開催され, 伊勢志摩の豊かな自然・食の魅力が世界に向けて広く発信されました。伊勢志摩ブームを単に一過性のものとせず, 引き続き世界中からファンを獲得しようと, この度, 伊勢市, 志摩市, 鳥羽市, 南伊勢町の4つの市・町が連携し, 本セミナーにて伊勢志摩をPRしました。第1部では, 観光を主に伊勢志摩の魅力を発信した他, 今年11月に予定している駐日外交団を対象とした2泊3日のツアーも紹介しました。



海女の衣装を体験する来場者

第2部では、赤福餅や真鯛、伊勢まぐろ、てこね寿司、みかんジュース等の美味しい伊勢志摩の食材を、駐日外交団等に実際に味わっていただき、大変好評でした。伝統ある海女文化を知ってもらおうと、海女着の試着体験や現役海女アイドル「とばあば」によるステージも行い、特にステージはインパクトのある歌と踊りで、来場者に「日本一海女の多い伊勢志摩」を印象づけました。



現役海女アイドル「とばあば」

<横浜市(神奈川県)>

横浜市は、日本最大級の動物園「よこはま動物園ズーラシア」の魅力を中心に駐日外交団等にPRしました。プレゼンテーションでは、ズーラシアが気候帯や地域ごとに生息環境が再現されており、生息地域特有の雰囲気の中で様々な動物に会えることや、世界の動物の保全・繁殖に取り組んでいることを紹介しました。横浜市というと、国際貿易が盛んな大都市をイメージする人も多かったようで、来場者からは緑豊かで広大な動物園があることに驚いたという声もありました。



ズーラシアに関するクイズ大会
(オカピ(右))

第2部では、ズーラシアに関するクイズ大会をステージ上で実施した後、横浜市ブースでもクイズコーナーを設け、どちらも大変盛況でした。また、ズーラシアからは、マスコットキャラクター・オカピ(ズーラシアにて国内初公開となったキリン科の動物)も駆けつけ、横浜市ブースを盛り上げました。試飲試食コーナーでは、ハラル認証をとった珍しいアイスクリームの提供があり、ムスリムの方も含め、多くの来場者の美味しいアイスクリームを楽しんでいただきました。



ブースでのクイズコーナーの様子

<燕三条地域(新潟県)>

金属加工の産地として有名な燕三条地域では、毎年「燕三条 工場(こうば)の祭典」として、普段は入ることができないモノづくりの現場を一斉に開放し、一般の人々がモノづくりを見学・体感できるイベントを行っています。プレゼンテーションでは、武田修美「工場の祭典」実行委員長より、「工場の祭典」では、職人さんの匠の技を間近で見られることや、職人さんのモノづくりに対する姿勢・思いを聞くことができる等の魅力を紹介した他、このイベントがきっかけで、他県から工場に就職する若者が現れるなど、燕三条地域に様々な変化が生まれていることを説明しました。会場からは、「工場の祭典」で採用されているデザイン(ピンクの斜めストライプ)の意味について質問があり、武田実行委員長より、①普段



プレゼンテーションの様子

の工場では、立ち入り禁止を表す黄色と黒のストライプが共通して見られるが、「工場の祭典」の期間だけは、ピンクのストライプにすることで開放されていることを示していることと、②ピンク色を採用した理由として、金属加工時に見られる炎が鮮やかなピンクをしていること等を紹介しました。

第2部では、パン切り包丁を実際に試し切りしてもらおうコーナーを設け、切れ味が良くほとんどパンくずが落ちない包丁を来場者に体験してもらいました。会場となったホテル椿山荘の洋食調理課シェフが来場者に実演して見せながら、包丁の切れ味の良さを絶賛していたのが印象的でした。他にも、よく冷えたカチカチのアイスクリームでも、スッとすくって食べられるアイスクリームスプーン(熱伝導率が極めて高く、手の体温がすぐに伝わり、アイスクリームが溶けやすい)を体験してもらおうコーナーを設け、来場者には実際にスプーンをつかってアイスクリームを食べていただきました。また、櫛に漆で模様を描き、金粉や銀粉を蒔く蒔絵作成体験コーナーでは、真剣に取り組む駐日外交団等の姿が見られ、多くの来場者に伝統工芸を体験していただきました。



パン切り包丁の体験コーナー



蒔絵作成体験コーナー

今回のセミナーでは、プレゼンテーションや試飲試食、体験イベントなどについてSNSで積極的に発信してもらおうよう来場者に呼びかけた他、ブースを出展した4つの自治体・団体には、SNSに投稿したくなるような魅力的なイベント・展示の実施をお願いしました。例えば、「ゆるキャラ」の登場や、着物を着たスタッフの配置の他、蒔絵作成体験などの体験イベント、飴細工の実演や現役海女アイドルのステージ、巨大切り出し小刀や巨大きせるの展示など、短い準備期間の中で様々な御協力をいただきました。実際にSNS等で発信いただけた総数は把握できていませんが、次回は、検索しやすくするために「ハッシュタグ」を案内することを検討したいと思います。

また、今回のセミナーはイスラム教のラマダーン期間中に開催されたこともあり、できるだけムスリムの来場者にも試飲試食を楽しんでいただけるよう、日没に近い時間を第2部交流会の開始時間に設定しました。いつもより少し遅い時間の案内(第2部 18:30~20:00)となりましたが、ムスリムの駐日外交団より、「日没に近い時間に始まったので、試飲試食を楽しめるのが有り難い。」という声をいただきました。

セミナーに参加した外交団等からは、「各地の魅力を知れてよかった」、「地方の皆さんの思いに直に触れられた点がよかった」などの声が聞かれました。外務省では、引き続き、駐日外交団等に地方の魅力を発信する場を提供するなど様々な取組を行ってまいります。

(了)